

とって、あんまり、ちょっと塾

世界史と日本史

「**愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ**」 ビスマルクという人が言ったと伝えられている。個人の経験だけに頼るのではなく、多様な観点から検証された歴史を手本にしたらいいいということらしい。

語呂合わせでいいから、できごとの年代を記憶して、それらをつなげて時間軸を作っておくと、後から知った知識をその上に置くことができる。きっと宝物になる。

この稿では、自由に生きたいと願う人間にとってとても大切な「**基本的人権**」を例に、歴史の時代軸を作ってみます。

基本的人権って昔からあったの？

- 「生まれながら持っているのだ」：トマス・ホッブス、ジョン・ロック
 - ホッブスは人間だから平等だと説いた
 - ロックは神が平等に作ったから平等だと言った
- 「法律に書いてあるからだ」：ジェレミー・ベンサム
 - 実際に認められていない時代があったし、認められていない地域がある

◆ 基本的人権には、自由権、平等権、所有権、生存権などがある

- 成人男性や女性や子どもの権利について、歴史をたどってみよう
- 自由権と生存権では、どちらが先に成文化されたと思う？

◆ 子供たちがもっている基本的人権は？

- 生存権、教育を受ける権利・・・/幸せを追求する権利/自由権、所有権・・・
- 子どもを自由にさせたら、生きるための努力をおこたったり、だまされる可能性があるね。大人は子どもが自立できるように教育する義務があることも忘れちゃいけない。
- 子どもの尊厳を守りながら子どもを教育することが、大人に課せられた義務ということ、子どもは自分の尊厳を守りながら、自分を向上させる努力をしなくちゃいけないということ。

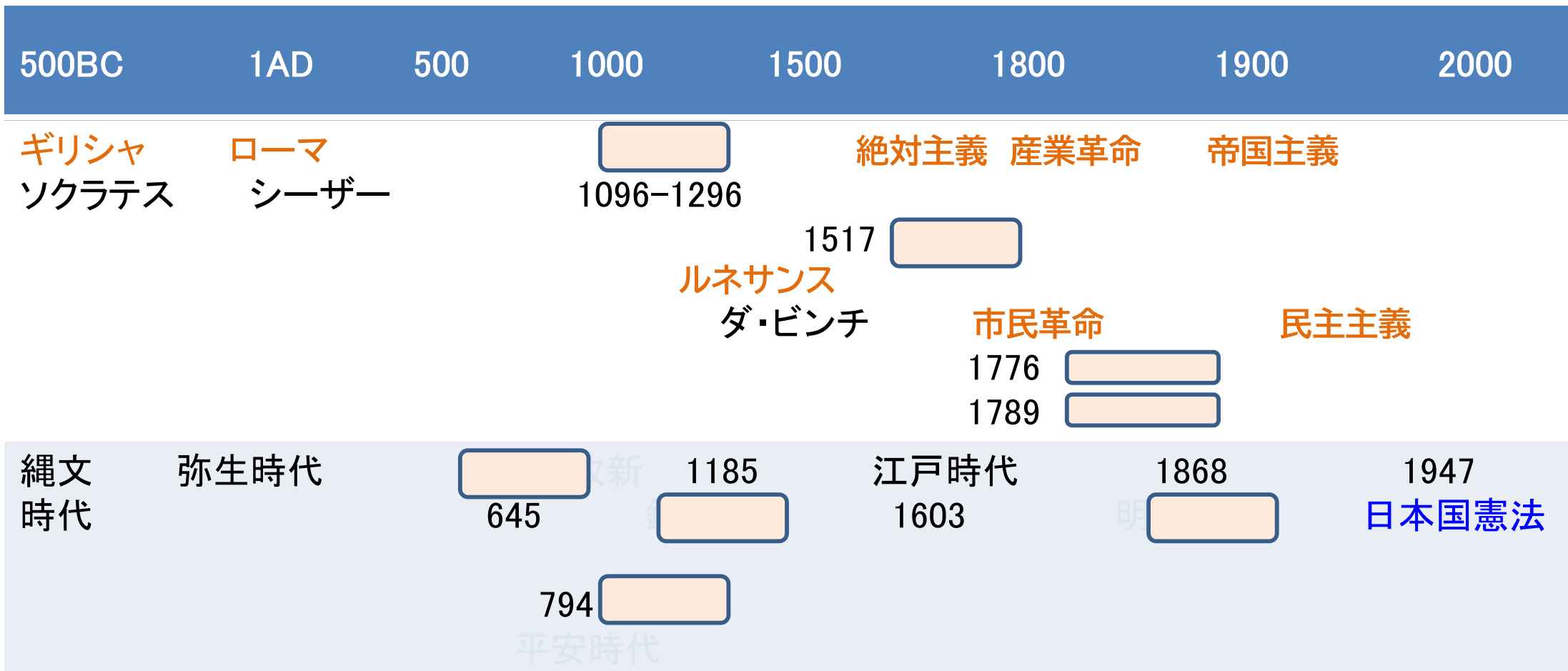
先ずは歴史の流れを把握しよう

いくつかの出来事をおぼえて自分の歴史軸をつくってごらん

- 基本的人権の確立の歴史 啓蒙思想・フランス革命・ワイマール憲法
- 絵画や音楽の歴史 中世・ルネッサンス・バロック・ロマン主義
- 科学技術の歴史 地動説・錬金術・ニュートン力学・周期律
- 医科学の歴史 解剖学・血液循環・顕微鏡・分子生物学
- 経済の歴史 重商主義・資本主義・社会主義
-

- 「**愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ**」？ むしろ「普通の人には経験に学び、賢者は歴史に学び、愚者は何からも学ばない」！ だろう。
- 自分の経験だけが正しいと主張する人に会ったとき、**歴史を参照**して反論すると**偏った意見を排除**することができる。

世界と日本の歴史の流れ(に歴史的な出来事を入れなさい)



第1回十字軍: **十字軍苦勞**する
ルター宗教改革: 贖宥状に**一語否**
米独立宣言: **柔軟なロック**に学んで独立宣言
フランス革命: **火縄**くすぶるバスチューユ

大化の改新: **虫殺**し入鹿を先に殺しちゃう
平安時代: **なくよ**ウグイス平安京
鎌倉幕府: **いい箱**つくろう鎌倉幕府
大政奉還: **人はむなしく**大政奉還

世界と日本の歴史の流れ（自分の歴史軸をもとう）



第1回十字軍：**十字軍苦勞**する
ルター宗教改革：贖宥状に**一語否**
米独立宣言：**柔軟なロック**に学んで独立宣言
フランス革命：**火縄**くすぶるバスチューユ

大化の改新：**虫殺**し入鹿を先に殺しちゃう
平安時代：**なくよ**ウグイス平安京
鎌倉幕府：**いい箱**つくろう鎌倉幕府
大政奉還：**人はむ**なしく大政奉還

西欧世界史の転換点

- ルネッサンス:

聖書中心の価値観 ⇒ **ルネッサンス** ⇒ 人間の理性と感性を中心にした価値観
(1500年ころ)

- 産業革命:

手工業・家内工業 ⇒ **産業革命** ⇒ 大規模生産
(1800年ころ)

- 市民革命:

王侯貴族が富を独占 ⇒ **市民革命** ⇒ 市民の自由権の成文化
(1780年ころ)

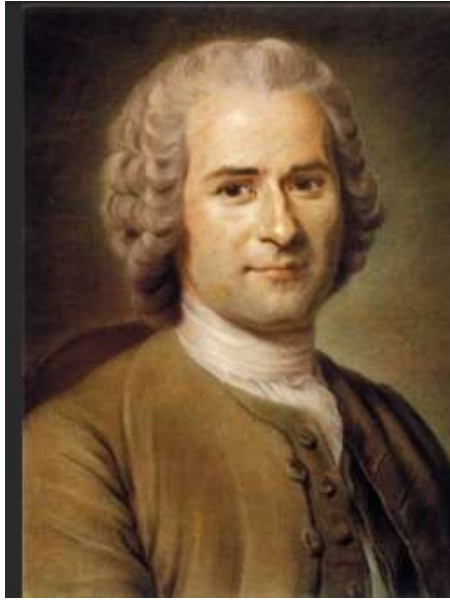
社会主義 ⇒ 市民の生存権の成文化
(1850年ころ)

日本の権力者の転換点

豪 族	⇒	大化の改新(645)	⇒	天皇
天 皇	⇒	鎌倉幕府(1185)	⇒	武士
武 士	⇒	明治維新(1868)	⇒	特権市民
特権市民	⇒	第二次大戦終戦(1945)	⇒	市民

➤ 何かの出来事を基にして、自分の時間軸をつくってごらん。

子どもの発見



ジャン=ジャック・ルソー
1712年～1778年

ルソーは著書「エミール」によって、子どもには発達段階があり、それに応じた教育が必要だと説いた。

アリエスはルソーの時代に子どもがどのように扱われていたかを詳細に調べ、次の諸点を見出した。

- ・当時は子どもという概念も教育という概念もなかった。

- ・当時の子どもは、7歳ほどで大人と同様に扱われ、徒弟制度の下でかたよった教育に直面することが一般的であった。

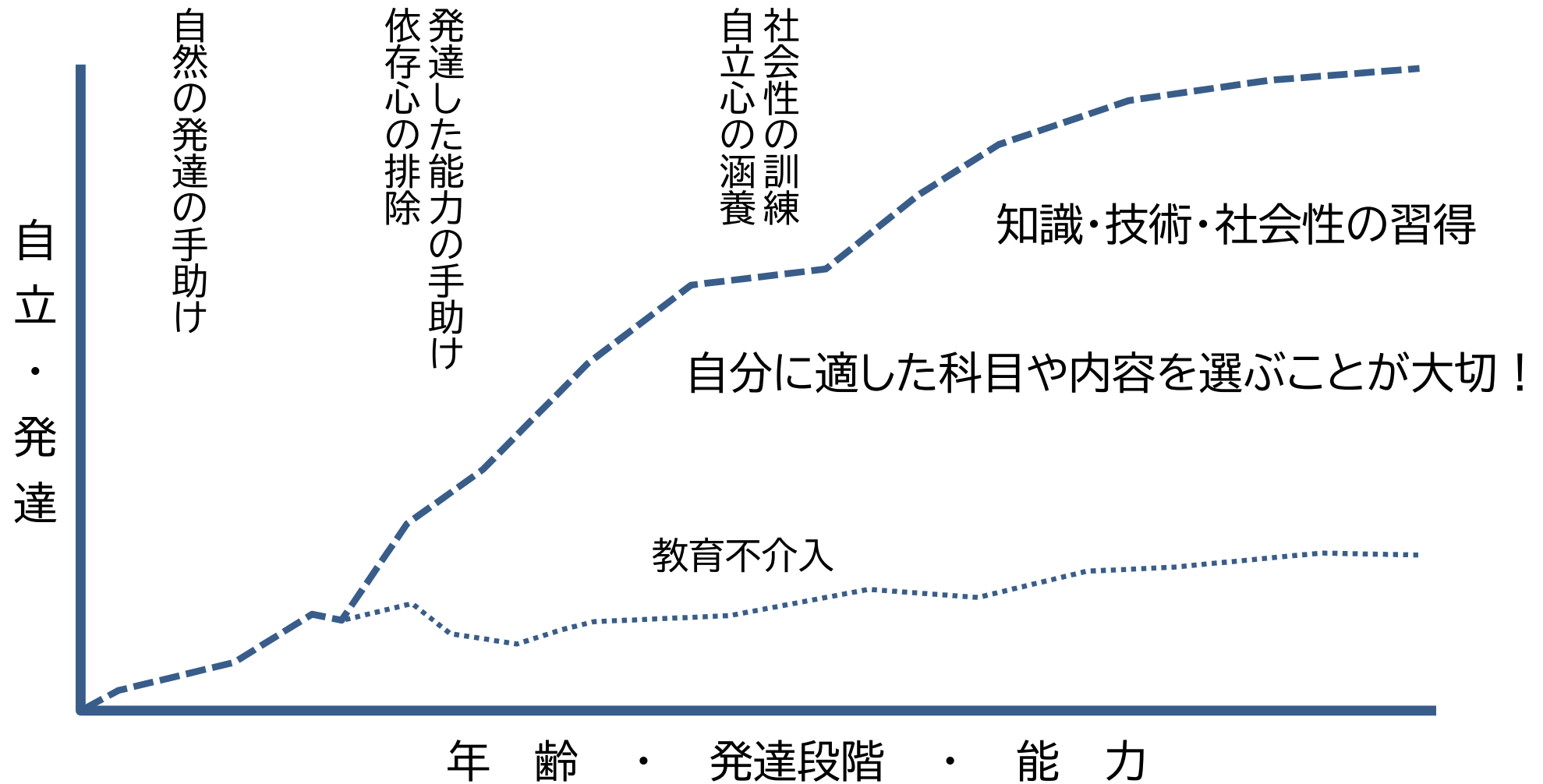
- ・それより幼い子どもは動物と同じに扱われた。

- ・17世紀から始まった学校制度では、男児対象であること、純真無垢を理念として性については禁忌とされた。



フィリップ・アリエス著
1960年

子どもの発達と自立



児童憲章(日本 1951年)

前文で3つの原則が謳われている

- 児童は、人として尊ばれる。
- 児童は、社会の一員として重んぜられる。
- 児童は、良い環境の中で育てられる。

一方で民法には、子供を教育するためには、**懲戒することができる**と明記されており、子どもへの虐待を正当化するための根拠とされることがあった。

そのため、2022年に民法が改正されて親の懲戒権が削除され、2020年に制定された児童虐待防止法と併せて、子どもの権利が擁護される姿勢が明示された。

子どもの権利条約(国連 1989年)

世界では子どもが人間として扱われていないことが多いために、子どもについて4つの原則を明確に宣言しました。

- すべての子どもは、差別されない。
- 子どもに関する行為は、子どもにとって最善の利益があるようになされる。
- すべての子どもは、生存や発達について支援を受けることが保障される。
- 子どもは自分に関することについて自由に意見を発表することができ、大人はそれを尊重する。

子どもの位置づけが、「弱く守られる存在」から、「人権をもつ存在」に転換されました。

考えてみよう / 話しあってみよう

- ・ 幸福の追求:幸福が勉強や労働をしないで遊んでいることだったら？
- ・ 自由権:皆が自由にふるまって勝手なことをしたら？
- ・ 平等権:働いている人と遊んでいる人と同じ権利？
- ・ 所有権:自分の労働の成果は誰の所有に？
- ・ 子ども達は大人と同じ権利をもっているのだろうか？
- ・ 生存権:どんな時でも主張していいことだね。だけど、歴史的には生存権の方が自由権や所有権より後に成文化されたんだ。財産や健康や運命の不平等にもかかわらず自己責任だった。

それぞれの権利は個人として大切だが、複数の人間が集まる社会では権利の衝突が起きることがある。一人ひとりの事情が違うから難しい問題も出てくるんだ。

現実に即していろいろ考えて、話し合ってごらん。その際には、裁判の判例とか、歴史の教訓が役に立つことがある。